

動物管理科 昼間部
ホースプロコース

1 年生シラバス



学校法人 中村学園

専門
学校

ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理理科					コース名		ホースプロコース			
科目名	騎乗理論Ⅰ							必修・選択必修の別		選択必修	
実施期	1年	前期	40	時間	後期	42	時間	授業時間数合計		82 時間	
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間	※授業50分が1コマ			
担当講師	郷原恵子										
	実務経験	有	乗馬クラブ経営32年。平成8年より有資格者として乗馬の指導にあたる。								
授業概要	馬と騎手の信頼関係を築けるよう、騎乗の為の知識と技術を理論で理解する。併せて適切な厩舎管理、馬とコミュニケーションを学び実践に生かす。							授業形式		講義	
到達目標	騎乗時における正しい姿勢とバランスを学ぶ。馬術的な扶助と随伴を理論で理解し実践に生かす。馬の特性を理解し飼育管理に生かし、馬の良き理解者となり馬をサポートするライダーになる。ライセンス取得の為の筆記試験対策を学ぶ。競技会に必要なルールや知識を学び実践で生かす。										
教科書 教材	レッツエンジョイ、人馬の基礎訓練、スタンダード馬場馬術、他参考資料配布										
授業計画時間 数	授業内容										
1～2	オリエンテーション/自己紹介/ライセンス試験等の説明/授業の進め方										
3	馬についての知識①品種血統/馬似について(本能や性質、その取り扱いについて)										
4	厩舎から引馬、馬装などについてDVD鑑賞、鞍や馬具についての知識										
5	馬の個体識別の方法/毛色や白斑、マイクロチップの説明/馬の健康手帳を見て確認										
6	厩舎管理について大切なこと/平常と違うことを見つけるための知識										
7	健康な馬の見分け方/良好な状態での数値を知り、以上を認識する										
8	厩舎管理における馬体の手入れ、方法についての知識										
9	基本馬術、乗馬、下馬の方法と基本姿勢、手綱の持ち方。正しい騎乗姿勢とは										
10	馬上体操について										
11～13	騎手の座りの養成。バランスと緊張緩和。座りの基礎										
14	馬の動きと一体になること①常歩										
15	軽速歩について										
16～18	扶助について										
19～20	馬の動き方、基本歩法(三種の歩度)										
21	回転と輪線運動について										
22～24	復習										
25	部班運動について、各種運動の指示										
26～27	経路の分析および基本ルールについて										
28	正しい停止の扶助について										
29～30	間違った乗り方や癖についての原因と矯正について										
31～33	一歩進んだ、騎乗の知識。ハーフホルト										
34～36	復習										
37	競技会に必要な知識を身に着ける										
38 ～ 39	駢歩技術向上に必要なこと										
40	調馬索について										
41 ～ 50	馬場馬術競技のテクニックと知識										
51 ～ 70	馬場馬術の運動の基本										
71 ～ 78	馬場馬術における問題とその解決										
79 ～ 82	馬場馬術調教の6要素について動画で学ぶ										
成績評価方法	・出席率					定期試験	○	筆記試験			
	・定期試験や小テスト							実技試験			
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない			
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている									
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通									
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る									
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合									

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ホースプロコース			
科目名	馬の獣医学					必修・選択必修の別		必修		
実施期	1年	前期	15	時間	後期	14	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	29	時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間			
担当講師	野口 健									
	実務経験	有	成田市周辺で馬の開業獣医師として30年							
授業概要	馬の獣医学は、馬を管理し育成していく上で指針とすべき分野であり、馬の行動特性、生理機能、病気等について理解し馬の健康維持や増進に役立つ知識を習得する。							授業形式	講義	
到達目標	馬の体の構造や機能、飼養管理法、病気について理解を深めることは、馬の福祉を念頭に置きつつ、馬とより良いパートナーシップを築き、人として成長し真のホースマン、ホースウーマンとなる事。									
教科書・教材・服装等	新 馬の医学書									
授業計画時間数	授業内容									
1	歴史と分類：分類と進化、歴史、品種と用途について理解する。									
2	感覚機能、学習能力及び行動特性について理解する。									
3	馬体各部の名称、個体鑑別、毛色、特徴について理解する。									
4	馬体の構造と機能：骨の種類と役割、骨の構造、骨の代謝と成分について理解する。									
5	馬体の構造と機能：関節の働き、仕組み、種類、歩法について理解する。									
6	馬体の構造と機能：筋肉と腱の働き、体幹の主な筋肉の役割、について理解する。									
7	馬体の構造と機能：蹄の定義、蹄の仕組み、蹄機について理解する。									
8	馬体の構造と機能：血液の成分と働き、馬の血液の特徴、心臓循環系について学ぶ。									
9	馬体の構造と機能：呼吸器系、上下気道の仕組みと働きについて理解する。									
10	馬体の構造と機能：消火器系の特徴、仕組み、について理解する。									
11	馬体の構造と機能：泌尿器系、感覚器系、の特徴及び働き、について理解する。									
12	馬体の構造と機能：神経系、内分泌系、免疫系について理解する。									
13	馬体の構造と機能：生殖器系、遺伝と発生、胎子、分娩について理解する。									
14	ビデオ教材を使い馬の扱い及び管理について学習する。									
15	前期学習内容の復習									
16	病気概論：病気とは、病気の診断、診断の要領について理解する。病気の各論：馬体の異常の見つけ方につ									
17	骨格系、筋肉系、蹄の病気について理解する。									
18	血液・循環器系、呼吸器系の病気について理解する。									
19	消火器系、泌尿器系の病気について理解する。									
20	感覚器系、神経系の病気について理解する。									
21	内分泌系、免疫系の病気について理解する。									
22	生殖器系、寄生虫による病気について理解する。									
23	ウイルス、細菌、真菌、原虫、中毒による病気について理解する。									
24～25	健康状態把握の基本、発育期整形外科的疾患について理解する。									
26～27	馬の福祉：アニマルウェルフェアに対応した動物管理について理解する。									
28～29	後期の総復習及び、1年間の総復習を行う。									
成績評価方法	・出席率					定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト							実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている								
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通								
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～70点以上・平常点 やや劣る								
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合								

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース2024		
科目名	指導者理論					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	15 時間	後期	14 時間	授業時間数合計		29 時間
	2年	前期	- 時間	後期	- 時間	※授業50分を1時間とする。		
担当講師	千葉 千尋・丸尾 優菜							
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。					
授業概要	乗馬における安全およびリスクマネジメントを学ぶ。また、指導者として傷病者の対応が迅速に行えるよう一時救命処置の知識および技術を習得する。乗馬クラブの指導者の心得・接客時の心構えを学ぶ。また、乗馬指導者として知っていなければならない馬に関する専門知識を身につける。					授業形式	座学 実技	
到達目標	より安全に乗馬するための知識と基礎馬学を理解し、より良いサービス提供のできる人材及び指導者の育成を目的とし、就職においての実務的な知識・行動を身につける。							
教科書・教材・服装等	・乗馬安全マニュアル ・乗馬指導者の心得と基礎馬学 ・規定集							
授業計画時間数	授業内容							
1	初回挨拶と自己紹介・教科書説明							
2	スポーツと安全 1							
3	スポーツと安全 2							
4	乗馬と安全							
5	乗馬活動中の損傷 1							
6	乗馬活動中の損傷 2							
7	疾病と応急処置 1							
8	疾病と応急処置 2							
9	一時救命処置 1							
10	一時救命処置2							
11	一時救命処置3							
12	一時救命処置4							
13	乗馬クラブにおける安全対策							
14	乗馬指導中の事故における法的責任 1							
15	乗馬指導中の事故における法的責任2							
16	乗馬指導者の心得							
17	馬の外貌と個体識別1							
18	馬の外貌と個体識別2							
19	馬体の構造1							
20	馬体の構造2							
21	乗馬の蹄とフットケア1							
22	乗馬の蹄とフットケア2							
23	馬の運動							
24	馬の栄養と飼料1							
25	馬の栄養と飼料2							
26	馬の健康管理1							
27	馬の健康管理2							
28	規定集1							
29	規定集2							
成績評価方法	・出席率					○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				定期試験		実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト79～70点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名		ホースプロセス	
科目名	動物管理実習					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	95 時間	後期	98 時間	授業時間数合計		193 時間
	2年	前期	- 時間	後期	- 時間	※授業50分を1時間とする。		
担当講師	千葉千尋・郷原恵子・丸尾優菜							
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。					
授業概要	馬の心と身体両面の健康維持のための適切な厩舎管理を学ぶ。馬の性質や癖を知り、安全に正しく管理する。また、馬の異常を見抜く観察眼を養う。					授業形式		実習
到達目標	大動物の管理に必要な体力を身につける。 日々の厩舎作業を、効率良く正確に時間内に完了する。 馬の性質や癖を知り、安全に正しく管理する。 馬の正常な呼吸数、体温、脈拍数を知り、馬体検査や病気の予防方法を身につける。							
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING ・スタンダード馬場馬術 ・人馬の基礎訓練 ・馬のためのグルーミング完全ガイド							
授業計画時間数	授業内容							
1～5	厩舎の清掃 飼料、水の給餌(以下、厩務作業とする)							
6～10	厩務作業、体力トレーニング、ハンドリング、曳き馬の実践							
11～15	厩務作業、体力トレーニング、馬体ケアについて理解する(換毛期のケア)							
16～20	厩務作業、体力トレーニング、厩務作業テスト①(正確さ、速さ)の実施							
21～25	厩務作業、体力トレーニング、体力テストの実施							
26～30	厩務作業、体力トレーニング、飼料の管理方法を知る							
31～35	厩務作業、体力トレーニング、敷料について理解する							
36～40	厩務作業、体力トレーニング、馬衣の洗濯							
41～45	厩務作業、体力トレーニング、馬体検査の方法を知る							
46～50	厩務作業、体力トレーニング、厩舎周りの管理、清掃(側溝、厩舎扉含む)							
51～55	厩務作業、体力トレーニング、馬体ケア道具の手入れ方法							
56～60	厩務作業、体力トレーニング、馬具(革)の手入れ方法							
61～65	厩務作業、体力トレーニング、呼吸数や体温、脈拍数の測定							
66～70	厩務作業、体力トレーニング、夏季の馬体ケア方法							
71～75	厩務作業、体力トレーニング、馬装・馬体ケアテスト(正確さ、速さ)の実施							
76～80	厩務作業、体力トレーニング、前期まとめ							
80～85	厩務作業、体力トレーニング、気温の変化による対応方法							
86～90	厩務作業、体力トレーニング、馬術競技会の運営における注意事項・準備①							
91～95	厩務作業、体力トレーニング、厩務作業テスト②(正確さ、速さ)の実施							
96～100	厩務作業、体力トレーニング、引き続き行う(より適切に、効率よく)							
101～105	厩務作業、体力トレーニング、調馬索運動の実践							
106～110	厩務作業、体力トレーニング、環境を整える(馬場、周辺)							
111～115	厩務作業、体力トレーニング、厩舎周りの安全性について知る							
116～120	厩務作業、体力トレーニング、怪我や病気の対処法を学ぶ							
121～125	厩務作業、体力トレーニング、蹄鉄の点検、検査							
126～130	厩務作業、体力トレーニング、肢巻の巻き方とその用途を学ぶ							
135～140	厩務作業、体力トレーニング、馬衣の着せ方、はずし方、管理を知る							
141～145	厩務作業、体力トレーニング、毛刈りとトリミングについて知る							
146～150	厩務作業、体力トレーニング、体力テストの実施②							
151～155	厩務作業、体力トレーニング、馬術競技会の運営における注意事項・準備②							
156～160	厩務作業、体力トレーニング、厩務作業テスト(正確さ、速さ)の実施②							
161～165	厩務作業、体力トレーニング、馬装・馬体ケアテストの実施(肢巻)							
166～193	厩務作業、体力トレーニング、後期まとめ・総復習・最終テスト							
成績評価方法	・出席率				定期試験		筆記試験	
	・チェックテストや実技試験						実技試験	
	・平常点(提出物・授業参加意欲など)					○	実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率95%以上・実技試験評価 優れている(90点以上)・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～85%以上・実技試験評価 普通(89～80点以上)・平常点 普通						
	C評価	出席率84～75%以上・実技試験評価 やや劣る(79～70点以上)・平常点 やや劣る						
	F評価	出席率84～75%以上・実技試験評価 やや劣る(79～70点以上)・平常点 やや劣る						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ホースプロコース		
科目名	騎乗トレーニング					必修・選択必修の別		必修	
実施期	1年	前期	220 時間	後期	176 時間	授業時間数合計		396 時間	
	2年	前期	- 時間	後期	- 時間	※授業50分を1時間とする。			
担当講師	千葉千尋・郷原恵子・丸尾優菜								
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。						
授業概要	乗馬の基礎の修得、馬の動きに対する知覚力を身につける。馬とのコミュニケーションのとり方、マナーを学び、馬との信頼関係を築く。						授業形式	実習	
到達目標	馬具の用途を理解し、馬の個々の馬装を正確に行う。 3種の歩法（常歩・速歩・駈歩）を正しい姿勢で騎乗する。 競技会に参加し、競技と使役の実践経験を積む。 全国乗馬倶楽部振興協会が発行する乗馬技能3級ライセンスを取得する。								
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING ・スタンダード馬場馬術 ・人馬の基礎訓練 ・馬のためのグルーミング完全ガイド								
授業計画時間数	授業内容								
1～12	騎乗の服装（装具）とマナーについて。馬の手入れや馬装方法を学ぶ。								
13～24	馬の乗り降りの練習。ハンドリング、曳き馬の方法を習得する。								
25～36	騎手の姿勢とバランス訓練。								
37～48	馬上体操訓練。								
49～60	馬具の名称や使用方法を理解する。馬上体操訓練。								
61～72	扶助操作の理解。主扶助(手綱扶助と脚扶助)で馬を動かす。								
73～84	常歩から速歩への移行。停止や誘導をスムーズに行う。								
85～96	騎手の姿勢とバランス。運動時の馬のリズムとテンポを覚える。								
97～108	部班運動や号令について。								
109～120	図形運動を取り入れる。								
121～132	速歩、軽速歩での回転や軽速歩の手前を正しく覚える。								
133～144	駈歩発進と持続方法を学ぶ。								
145～156	競技会（ホースプロ馬術競技会）の練習。競技の種類やルールの確認。								
157～168	エントリーした競技およびライセンス取得に向け経路練習。								
168～179	競技会（ホースプロ馬術競技会）の参加。使役の実践。								
180～191	蹄跡での駈歩、回転運動の習得。部班運動での駈歩。								
192～203	競技会のビデオ動画鑑賞。各自の反省と今後の目標を確認。								
204～216	競技会反省点・各自の弱点強化。								
217～228	騎乗フォームやバランスの改善。								
229～240	ロンジング（調馬索）の方法を学ぶ。速歩での曳き馬を行う。								
241～252	班分けを行い、各自のレベル・目標にあった課目の練習を行う。								
253～264	横木通過やパイロンを利用した練習を行う。								
265～276	課目の練習を行い、馬場馬術の扶助を学ぶ。								
277～288	馬場馬術競技課目への理解を深め、より馬場的運動に近づける。								
289～300	馬場馬術・障害馬術を理解し、各自の目標を見定める。								
301～312	各自種目別にトレーニングを行い、反復練習を行う。								
313～324	障害飛越の基本について学ぶ。								
325～336	競技会（ホースプロ馬術競技会）練習。競技の種類やルールの確認。								
337～348	エントリーした競技およびライセンス取得に向け経路練習。								
349～360	競技会（ホースプロ馬術競技会）の参加とその練習。使役の実践。								
361～372	競技会のビデオ動画鑑賞。各自の反省と今後の目標を確認。								
373～396	進級（次年度）にあたっての心得・注意事項 総復習								
成績評価方法	・出席率				定期試験		筆記試験		
	・チェックテストや実技試験、馬術競技会成績						実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					○	実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率95％以上・実技試験評価 優れている（90点以上）・平常点 優れている							
	B評価	出席率94～85％以上・実技試験評価 普通（89～80点以上）・平常点 普通							
	C評価	出席率84～75％以上・実技試験評価 やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る							
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合							

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名			ホースプロコース		
科目名	パソコン					必修・選択必修の別			必修		
実施期	1年	前期	-	時間	後期	28	時間	授業時間数合計		28	時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間	※授業50分を1時間とする。			
担当講師	中島 雅子										
	実務経験	有	MOS取得。パソコンインストラクターとしての実務経験は20年以上。								
授業概要	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせで実施する。							授業形式		講義	
到達目標	・Windowsの基本的な操作に慣れる。 ・ローマ字入力による文字入力を効率的で正確に行うことができる。 ・Microsoft WordとExcelの基本操作を理解し、実践できる。 ・情報モラルを守る姿勢を身に付ける。										
教科書・教材・服装等	・30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016（実教出版） ・USBメモリ										
授業計画時間数	授業内容										
1	オリエンテーション：PC教室利用上の注意・授業内容及び評価の説明・アンケート										
2	タイピング 基本トレーニング：PCの起動・ログイン方法・タイピング練習										
3～4	Word 基本1：基本操作を覚える・USBメモリの取扱い方・タイピング練習										
5～6	Word 基本2：効率よく入力する（様々な文字の種類・記号の入力など）										
7～8	Word 基本3：基本操作のまとめ										
9～12	Word 基本的な文書作成1：編集の手順・編集作業・ページ設定など										
13	Word 基本的な文書作成2：印刷・ページレイアウトなど										
14～16	Word 表の作成：罫線とは・書式設定・レイアウト・様々な表を作ってみる										
17	Word 表現力をアップする1：画像・イラスト・図形などの挿入とレイアウト										
18	Word 表現力をアップする2：テーマを決め作成する										
19～20	Word まとめ：総復習、自由作成課題を仕上げる、著作権を考える										
21～22	Excel 基本1：基本操作を覚えよう・データを効率的に入力する・セルの書式設定										
23～24	Excel 基本2：基本操作のまとめ・印刷設定・ページレイアウトの役割を知る										
25	Excel 数式と関数：四則演算・連続データ・表示形式など										
26	Excel データベース：リストとは（顧客名簿と入力規則）・大きなデータの表の扱い方										
27	Excel グラフ：グラフ作成する・グラフの構成要素・グラフをカスタマイズする										
28	Excel まとめ：総復習										
成績評価方法	・出席率					定期試験				筆記試験	
	・確認テスト									実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							○		実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90％以上・確認テスト90点以上・平常点 優れている									
	B評価	出席率80％以上・確認テスト75～89点・平常点 普通									
	C評価	出席率80％以上・確認テスト60～74点・平常点 やや劣る									
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合									

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ホースプロコース			
科目名	ビジネストレーニング						必修・選択必修の別		必修	
実施期	1年	前期	14	時間	後期	-	時間	授業時間数合計	17	時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間	※授業50分を1時間とする。		
	※別途就職セミナー3時間分有り									
担当講師	古沢 真希									
	実務経験	有	メディア等各局で司会やキャスターを経て、研修会社を設立。様々なセミナー、講演会をプロデュースする傍ら、自らも講師として活躍。							
授業概要	ビジネス・マナーの基本スキルの確立と応用マナーの学習。参加・実習型訓練形式。							授業形式	講義	
到達目標	基本の挨拶、メールの送り方、電話応対、話し方など、しっかりと覚えておくべきマナーとルールを身につける。シチュエーション別に自然な態度で礼儀作法に合った接遇ができるようになるのが目標。									
教科書・教材・服装等	ビジネス・ハンドブック									
授業計画時間数	授業内容									
1	セルフ・プレゼンテーション									
2	挨拶／お辞儀									
3	言葉遣い 敬語 1									
4	言葉遣い 応対用語									
5	電話応対 基本									
6	電話応対 取次									
7	手紙のルール									
8	メール・SNS のルール									
9	訪問のマナー									
10	来客応対 席次 案内									
11	エレベーターのマナー									
12	イノベーション・ゲーム									
13	自己の棚卸し									
14	総まとめ テスト対策									
成績評価方法	・出席率					定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト							実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている								
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通								
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る								
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合								

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名		動物飼育コース	
科目名	自己理解(&就職ガイド)							必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	14	時間	後期	14	時間	授業時間数合計	28 時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間	※授業50分を1時間とする。	
担当講師	就職担当								
	実務経験	無	学生用LIFOライセンス講座を受講						
授業概要	個人が協調しあう「社会」にできるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。 この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。 ①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。 ②自分の個性について、より広くより深く理解する。							授業形式	講義（オンデマンド配信）
到達目標	自分の強みを知り、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ「自分だけの必勝法」を見つけます。具体的に授業を通して以下のようなことができるようになります。 ・友人や苦手な人との付き合い方が分かり、人間関係がスムーズになります。 ・自分の長所が自己分析でき、就職活動やアルバイトの面接などに役立ちます。 ・勉強や自己啓発のより良いやり方・進め方がわかり、今までよりも成果が上がります。								
教科書・教材・服装等	LIFOテキスト（㈱ピーコンラーニングサービス）2,160円 個人レポート（㈱ピーコンラーニングサービス）540円 質問紙（㈱ピーコンラーニングサービス）1,080円								
授業計画時間数	授業内容								
1	自己理解とは・自己理解の大切さと難しさの理解								
2	ライフライン・自分自身をより深く理解する								
3	LIFO診断								
4	LIFOスタイル・LIFOの基本的考え方の理解								
5	強みの確認①								
6	強みの確認②								
7	強みの確認③								
8	他者からの指摘（ポジティブシャワー）								
9	自分の強みを確認する④								
10	就職室の紹介								
11	『G o o g l e classroom』運用と使用方法の説明（誓約書回収）								
12	業界インターンシップについて								
13	就職セミナーについて								
14	企業研究の仕方								
15	強みの使い過ぎの確認								
16	強みの拡張								
17	自己分析シートの完成								
18	福利厚生・社会保険について								
19	身だしなみ指導								
20	企業説明会								
21	インターンシップに向けて								
22	ESの作成指導								
23	自己PRの基本構築と作成								
24	電話のかけ方								
25	インターンシップ事前準備								
26	志望動機の基本構築								
27	インターンシップ準備、企業説明会								
28	課題レポートの作成								
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験	
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）							実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						○	実施しない	
成績評価基準	R評価	出席率80％以上・課題提出・平常点 優れている							
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合							

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ホースプロコース			
科目名	ホースタイム					必修・選択必修の別		必修		
実施期	1年	前期	-	時間	後期	48	時間	授業時間数合計	48	時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間			
担当講師	千葉千尋・郷原恵子・丸尾優菜									
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。							
授業概要	クラスメイトと連携し助け合いながら効率の良い作業方法を身につけ、予定時間通りに動く力を身につける。馬に関連するあらゆる経験を積む。動画を活用しながら、騎乗スキルや厩舎管理スキルを強化する方法を考え実践する。							授業形式	講義	
到達目標	他の実習授業の進具合で判断して、実施不足及び経験不足の内容を実施する。 日々の厩舎作業を、効率良く各自判断して実施し、時間内に完了する。 教科書を予習・復習する。 動画を見て、知識とイメージ力を養う。 ※他授業の実施状況や天候によって実施内容を変更									
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING　・馬のためのグルーミング完全ガイド　・人馬の基礎訓練　・スタンダード馬場馬術									
授業計画時間数	授業内容									
1～2	イントロダクション。今後の目標について									
3～8	体力強化期間。（雨天の場合自己表現活動訓練）									
9～12	馬術競技会の動画観賞（自身の騎乗を振り返り、反省と目標を再確認）									
13～16	馬に関するDVD観賞									
17～24	日々の厩舎作業をより効率よく実施するための方法を考える									
25～32	乗馬施設に必要な物を考える（CRPに何があると便利、安全に役立つのか）									
33～40	他の実習授業の補足内容①									
41～47	他の実習授業の補足内容②									
48	後期内容の総まとめ									
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実技試験		
							○	実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率95％以上・平常点 優れている								
	B評価	出席率94～85％以上・平常点 普通								
	C評価	出席率84～75％以上・平常点 やや劣る								
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合								

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ホースプロコース			
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別		必修		
実施期	1年	前期	14	時間	後期	14	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	28	時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間			
担当講師	千葉 千尋									
	実務経験	無								
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。							授業形式	講義	
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。									
教科書・教材・服装等	無し									
授業計画時間数	授業内容									
1	学校生活について①									
2~3	専門学校生としての心構え、学校生活においての目標設定									
4~5	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ									
6~7	メラビアンの法則、言葉遣い									
8~9	学校行事についてのディスカッション①									
10~11	学校行事についてのディスカッション②									
12~13	敬語表現や使い方									
14	まとめ									
15~16	学校生活について②									
17~18	学校行事についてのディスカッション③									
19~20	学校行事についてのディスカッション④									
21	プレゼンテーション例									
22~26	プレゼンテーションと振り返り									
27~28	総まとめ									
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実技試験		
							○	実施しない		
成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている								
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合								